

奈良国立文化財研究所要綱

I. 事業概要

1. 研究普及事業

公開講演会

- | | |
|--|---|
| (1) 1995年5月27日 第76回公開講演会
「白寿をむかえた文化財建造物の保存」 村田健一
「頭塔の発掘と復原」 高瀬要一 | (3) 1995年6月17日 藤原宮第78次(東方官衙地区)
松村恵司 |
| (2) 1995年8月26日 水落遺跡に関する講演会
(飛鳥・藤原宮跡発掘調査部)
「飛鳥の水時計」 猪熊兼勝
「水時計の発掘」 西口壽生 | (4) 1995年8月26日 水落遺跡第8次 巽淳一郎
(5) 1995年9月9日 平城宮跡第259次(造酒司) 加藤真二
(6) 1995年11月3～5日 朱雀門建設現場特別公開
(7) 1995年11月30日・12月1日 平城宮跡第261次
(朝堂院第六堂) 玉田芳英
(8) 1995年12月9日 平城宮跡第263次(薬師寺講堂)
寺崎保広 |
| (3) 1995年10月28日 第77回公開講演会
「イースター島・モアイの発掘」 猪熊兼勝
退官記念講演会
「空中写真撮影の歴史」 木全敬蔵 | (9) 1996年3月23日 本薬師寺西塔跡 千田剛道
(10) 1996年3月30日 平城宮跡第265次(第二次朝堂院南門) 渡邊晃宏 |

平城宮跡資料館・遺構展示館 (見学者数)

区分	資料館	遺構展示館	計
1995年	62,922	66,555	129,477
累計	1,417,936	1,760,981	3,178,917

現地説明会等

- (1) 1995年5月5日～7日 朱雀門建設現場特別公開
(2) 1995年6月3日 平城宮跡第250次(造酒司)
白杵 勲

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度以降の累計

2. 1995年文部省科学研究費補助金による研究

新継	種 目	研 究 課 題	研究代表者	交付額(千円)
新	重点領域(1)	遺跡探査法の総合的開発研究	西村 康	16,800
新	重点領域(2)	集落・埋納遺跡の探査	西村 康	9,600
新	〃	航空写真情報データベース(NARS)新検索法の開発研究	伊東太作	2,300
新	〃	石器属性の数量化	森本 晋	1,800
新	一般研究(A)	トイレ遺構の総合的研究	黒崎 直	9,900
新	一般研究(B)	常時微動測定による古建築の構造安定性に関する研究	内田昭人	1,300
継	一般研究(C)	和鏡の生産と流通—出土鏡・鑄造遺跡からみた考古学的考察—	杉山 洋	500
継	〃	古代度量衡の系譜	西口壽生	600
継	〃	古代の地方末端における官衙遺跡の研究	山中敏史	300
継	〃	弥生時代と古墳時代の祭祀の比較研究	岩永省三	500
継	〃	画家による近代和風庭園の系譜	小野健吉	600
新	〃	古代東アジアにおける冠位制度の考古学的研究	毛利光俊彦	1,200
新	〃	北東アジアのツングース系諸民族住居に関する歴史民族学的研究	浅川 滋 男	1,200
新	〃	古代の金製および銀製金工品の材質と製作技法に関する材料科学的研究	村上 隆	600
継	〃	東アジアにおける古代ガラスの材質変遷からみた交易・流通システム	肥塚隆保	1,100
新	〃	DNA鑑定を用いた出土埋没樹幹の樹種同定によるメタセコイアの古生態に関する研究	光谷拓実	1,600
新	奨励研究(A)	日本古代情報伝達メディアの研究	渡邊晃宏	1,000
新	〃	律令制都城における建物配置の規格性の研究	小澤 毅	900
新	〃	古墳時代土師器にみられる地域間交流に関する基礎的研究	次山 淳	900
新	研究成果公開促進費	二条大路木簡データベース	町田 章	5,900
新	国際学術研究	日本都城と中国都城との出土文物による比較研究	田中 琢	9,100
	計	21件		67,700

重点領域(1)	(新規)	1件	一般研究(B)	(継続)	1件	奨励研究(A)	(新規)	3件
重点領域(2)	(新規)	3件	一般研究(C)	(継続)	7件	研究成果公開促進費	(新規)	1件
一般研究(A)	(新規)	1件	一般研究(C)	(新規)	3件	国際学術研究	(新規)	1件
						計		21件

3. 飛鳥資料館の運営

展 示

第一展示室
常設展示

特別展示等

特別展示室

春期特別展示「古代の形」—飛鳥・藤原の文様を追う—

1995.3.29～5.21 (54日間)

秋期特別展示「蘇我三代」

1995.10.7～11.26 (51日間)

特別講演会

1995年4月15日

「渡来龍紋の変遷」

町田 章

1995年5月13日

「シルクロードと飛鳥の文様」

山本忠尚

1995年10月21日

「蘇我馬子と彼をめぐる人たち」

門脇禎二

1995年11月11日

「蘇我氏の墓」

猪熊兼勝

普及

インフォメーションルームにおいて観覧者の質問に
応じている。特別展示の刊行物として「古代の形—飛
鳥・藤原の文様を追う—」及び「蘇我三代」を刊行し
た。

入館者数 (1995.4.1～1996.3.31 開館日数319日)

区 分	個人観覧	団体観覧	有 料	無 料	合 計
一般	30,324	10,428	86,485	6,927	93,412
高・大生	3,875	10,845			
小・中生	7,328	23,685			
計	41,527	44,958			

陳列品購入

石舞台古墳復原模型
人頭石模刻

4. 埋蔵文化財センターの研修・指導

研 修

埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地

方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の
研修を実施した。

区分	課 程	内 容	担 当 室	実施期日	研修 日数	修了 者数
一般 研修	一 般 課 程	遺跡の発掘調査に関する基本的な知識 と技術の研修	研 究 指 導 部	7月4日～8月9日	37	37
専 門 研 修	遺 跡 探 査 課 程	遺物の探査に必要な専門的知識と技術 の研修	測 量 研 究 室	5月9日～5月18日	10	14
	文化財写真課程	埋蔵文化財の写真撮影等に関して必要 な専門的知識と技術の研修	情 報 資 料 室	8月17日～9月13日	28	20
	遺 跡 測 量 課 程	遺跡の測量に関して必要な専門的知識 と技術の研修	発掘技術研究室	9月20日～10月18日	29	16
	保存科学基礎課程	遺物の保存に関する保存科学的な基礎 知識と技術の研修	遺物処理研究室	11月7日～11月17日	11	16
	環 境 考 古 課 程	環境考古復原研究のために必要な専門 的知識と技術の研修	考古計画研究室	11月28日～12月15日	18	20
	寺院官衙遺跡調査過程	古代寺院・官衙遺跡の調査研究に関し 必要な専門的知識と技術の研修	集落遺跡研究室	1月10日～1月25日	16	30
	保存科学応用課程	遺物の保存に関する保存科学的な応用 知識と技術の研修	遺物処理研究室	1月31日～2月7日	8	16
特 別 研 修	遺跡保存整備課程	遺跡の整備に関して必要な専門的知識 と技術の研修	保存工学研究室	2月14日～3月8日	24	16
	埋蔵文化財基礎課程	埋蔵文化財行政を担当するうえで必要 な遺跡・遺物に関する基礎的知識の研修	保存工学研究室	6月13日～6月21日	9	35
	人 骨 調 査 課 程	遺跡から出土した人骨の調査に関して 必要な基礎的知識の研修	研 究 指 導 部	3月14日～3月22日	9	20
外 国 人 研 修	日本の文化財と日本の特色ある調査・ 研究方法の知識の研修	研 究 指 導 部	6月1日～6月5日	6	14	

外国研究者等招聘・受入一覧

氏名	所属・職	招聘・受入期間	研究・研修内容
Per Hoffmann	ドイツ国立海洋博物館 保存科学部長	1995. 4. 4～1995. 4. 13	保存科学研究 (国際交流基金)
H. P. Blankholm	ノルウェー トロムソ大学 講師	1995. 4. 9～1995. 4. 15	考古学研究 (日本学術振興会)
韓 炳三	大韓民国文化財委員	1995. 5. 10～1995. 5. 13	南アジア仏教遺跡特別研究
在外外国人研究者	カナダ、他	1995. 6. 1～1995. 6. 5	外国人対象日本考古学研修
姜 大一	大韓民国文化財研究所 専門委員	1995. 7. 14～1995. 9. 25	保存科学研究
Armin Schmit	イギリス ブラッドフォード大学 教授	1995. 9. 26～1995. 10. 16	考古学研究
U Myint Soe Aung	ミャンマー文化省考古学局 助手	1995. 10. 1～1995. 11. 21	南アジア仏教遺跡特別研究
U Naing Win	ミャンマー文化省考古学局 助手	1995. 10. 1～1995. 11. 21	南アジア仏教遺跡特別研究
Prak Sonnara	カンボジア 王立芸術大学 学生	1995. 10. 1～1995. 12. 29	アンコールワット遺跡共同研究
Ea Darith	カンボジア 王立芸術大学 学生	1995. 10. 1～1995. 12. 29	アンコールワット遺跡共同研究
John Kwest Addai	ガーナ ガーナ遺跡博物館	1995. 11. 1～1996. 1. 15	国際交流基金
鄭 起正	大韓民国文化財研究所 研究員	1995. 11. 1～1995. 12. 28	博物館における保存科学
俞 在恩	大韓民国文化財研究所 学芸研究士	1995. 11. 6～1995. 11. 14	保存科学研究
L. S. Marsadorov	ロシア エルミタージュ博物館 研究員	1995. 11. 7～1995. 11. 27	共同研究
朴 智善	大韓民国 靖齋文化財保存研究所 研究員	1995. 11. 21～1995. 11. 27	保存科学研究
V. L. Yanin	ロシア モスクワ大学 教授	1995. 11. 23～1995. 12. 7	考古学・歴史学研究
I. A. Ryvina	ロシア モスクワ大学 教授	1995. 11. 23～1995. 12. 7	考古学・歴史学研究
任 式楠	中国社会科学院考古研究所 所長	1995. 11. 24～1995. 12. 14	都城遺跡研究
金 容民	大韓民国 慶州文化財研究所 研究員	1995. 11. 24～1995. 11. 27	考古学研究
張 正男	大韓民国 慶州文化財研究所 研究員	1995. 11. 24～1995. 11. 27	考古学研究
外国人研修者	ラオス、タイ他	1995. 11. 27～1995. 12. 1	博物館学研修
李 容喜	大韓民国国立中央博物館 研究員	1995. 12. 4～1995. 12. 18	保存科学研究
Ashley Tompson	カンボジア王立芸術大学 講師	1995. 12. 6～1995. 12. 18	アンコールワット遺跡共同研究
姜 大一	大韓民国文化財研究所 専門委員	1995. 12. 25～1995. 12. 29	文化財保存管理研究
安 榮喜	大韓民国文化財研究所 司書主事補	1995. 12. 25～1995. 12. 29	文化財保存管理研究
李 蘭英	大韓民国文化財研究所 学芸研究士	1995. 12. 25～1995. 12. 29	文化財保存管理研究
安 馥濟	大韓民国文化財研究所 研究員	1995. 12. 25～1995. 12. 29	文化財保存管理研究
Gregory. N. Tsokas	ギリシャ テッサロニキ大学 講師	1996. 1. 27～1996. 2. 2	考古遺跡探査研究
V. A. Deryugin	ロシア文部省 考古学担当主任研究官	1996. 1. 29～1996. 2. 9	考古学研究
Y. N. Nikitin	ロシア科学アカデミー極東支部 研究員	1996. 1. 29～1996. 2. 19	考古学研究
Peter. J. Reynolds	イギリス バッツアー古代実験農場 所長	1996. 3. 4～1996. 3. 16	実験考古学研究
張 慶浩	大韓民国文化財研究所 所長	1996. 3. 25～1996. 3. 29	建築史学研究

発掘調査・保存整備等指導

北海道 ピリカ遺跡 手宮洞窟 常呂遺跡 福山城
 青 森 三内丸山遺跡 高屋敷館遺跡
 岩 手 御所野遺跡
 宮 城 多賀城跡 赤井遺跡
 秋 田 払田柵跡 秋田城跡
 福 島 慧日寺跡 二本松城跡 根岸遺跡
 茨 城 平沢官衙遺跡
 栃 木 那須官衙関連遺跡 法界寺跡 飛山城跡
 神奈川 永福寺跡
 新 潟 長ヶ者原遺跡

富 山 北代遺跡
 石 川 七尾城跡調査 須曾蝦夷穴古墳 横江荘遺跡
 岐 阜 昼飯大塚古墳 江馬氏館跡 杉崎廃寺 弥勒
 寺跡 高山城跡 市内遺跡
 静 岡 遠江国分寺 横須賀城跡 片山廃寺跡 大知
 波峠廃寺跡 勝間田城跡
 愛 知 三河国分寺跡 稲沢市内遺跡 市道遺跡
 三 重 長者屋敷遺跡 城之越遺跡 赤木城跡・田平
 子峠刑場跡
 滋 賀 大岩山古墳 安土城跡 木村古墳群 内野遺
 跡 兵主神庭園 穴太廃寺跡 南滋賀遺跡

近江国庁調査 大知波峠廃寺跡 坂本里坊庭園
 京都 物集女車塚古墳 高台寺庭園 鹿苑寺庭園
 平等院庭園 丹波国分寺
 大阪 金山古墳 心合寺山古墳 難波宮跡
 兵庫 袴狭遺跡 篠山城跡 広渡廃寺跡 赤穂城
 西条古墳群 宮内遺跡 行者塚古墳 八反田
 遺跡 新宮東山古墳群 中谷四号窯跡 大市
 山遺跡
 奈良 酒船石遺跡 大乘院庭園 頭塔
 鳥取 梶山古墳 不入岡遺跡 尾高朝山遺跡 上淀
 廃寺跡 伯耆国庁跡 富繁渡り上がり遺跡
 島根 後田谷V遺跡
 岡山 岡山城跡 鬼城山第一城門 松山城跡
 広島 吉川元春館 中世城館遺跡 草戸千軒町
 山口 長登銅山跡 陶窯跡群 大内氏遺跡 仁馬山古墳
 香川 讃岐国分寺跡 有岡古墳群 弘福寺領讃岐国
 山田郡田園 丸亀城跡
 愛媛 葉佐池古墳 三河国府跡 来廃寺跡
 高知 比江廃寺跡
 福岡 大野城跡 鴻臚館跡 平塚川添遺跡 仙道古墳
 佐賀 名護屋城
 長崎 鷹島海底遺跡 原城跡調査 原の辻遺跡
 熊本 柳町遺跡
 大分 亀塚古墳 下郡遺跡 カワラガマ遺跡 中津
 地区遺跡群 安岡寺集落遺跡 沖代条里跡関
 連遺跡
 長崎 国衙・郡衙・古寺跡範囲確認調査
 鹿児島 国分市上野原遺跡
 沖縄 知念城跡 識名園 仲原遺跡 今帰仁城跡
 フルスト原遺跡

埋蔵文化財ニュース刊行

第79号 1991年度 埋蔵文化財関係統計資料
 第80号 あれからもうすぐ1年 阪神・淡路大震災と
 埋蔵文化財
 第81号 古代地方官衙移籍関係文献目録

5. その他

委員会等

第22回飛鳥資料館運営協議会
 1995年5月17日 於：飛鳥資料館
 平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会
 1995年6月8・9日 於：平城宮跡資料館講堂

外国出張

沢田正昭 出土漆製品の保存科学的共同研究の打ち合
 わせのため、大韓民国へ出張
 1995年4月18日～1995年4月23日
 松井章 「低湿地国際研究集会」出席及び調査研究
 のため、カナダへ出張
 1995年4月26日～1995年5月10日
 小野健吉 交河故城保存修復及び中国庭園に関する
 研究のため、中華人民共和国へ出張
 1995年5月20日～1995年6月4日
 猪熊兼勝 バジリク文化古墳群に関する共同研究のた
 め、大韓民国へ出張

1995年5月23日～1995年5月26日
 村上隆 「鍍金された金属文化財に関するシンポジ
 ウム」出席のため、アメリカ合衆国へ出張
 1995年6月2日～1995年6月11日
 猪熊兼勝 「イースター島アフトンガリキ遺跡調査整
 備会議」出席のため、チリ共和国へ出張
 1995年6月21日～1995年6月29日
 工楽善通 新昌洞遺跡に関する調査研究のため、大韓
 民国へ出張
 1995年7月4日～1995年7月7日
 西村康 アンコールワット文化遺産保護共同研究の
 ため、カンボジアへ出張
 1995年7月3日～1995年7月15日
 杉山洋 アンコールワット文化遺産保護共同研究の
 ため、カンボジアへ出張
 1995年7月3日～1995年7月15日
 沢田正昭 バジリク文化古墳群に関する共同研究のた
 め、ロシアへ出張
 1995年7月10日～1995年7月19日
 肥塚隆保 バジリク文化古墳群に関する共同研究のた
 め、ロシアへ出張
 1995年7月10日～1995年7月19日
 白杵勳 中国古代北方遊牧民族文化に関する調査研
 究のため、中華人民共和国へ出張
 1995年7月15日～1995年7月25日
 町田章 1995年度日中共同研究予備調査のため、中
 華人民共和国へ出張
 1995年7月20日～1995年7月25日
 浅川滋男 黒龍江流域におけるソングース系諸民族住
 居に関する調査研究のため、中華人民共和国へ出張
 1995年7月20日～1995年7月29日
 佃幹雄 韓国主要遺跡踏査と埋蔵文化財に関する意
 見交換及び遺跡、遺物の撮影法についての講演のた
 め、大韓民国へ出張
 1995年7月23日～1995年7月29日
 花谷浩 アンコールワット文化遺産保護共同研究の
 ため、カンボジアへ出張
 1995年7月30日～1995年8月17日
 工楽善通 初期稲作遺跡出土品及び漆製品に関する調
 査研究、漆製品の材質技法に関する調査研究のため、
 台湾へ出張
 1995年8月21日～1995年8月24日
 沢田正昭 初期稲作遺跡出土品及び漆製品に関する調
 査研究、漆製品の材質技法に関する調査研究のため、
 台湾へ出張
 1995年8月21日～1995年8月24日
 村田健一 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、
 中華人民共和国へ出張
 1995年8月24日～1995年9月7日
 浅川滋男 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、
 中華人民共和国へ出張
 1995年8月24日～1995年9月7日
 猪熊兼勝 韓国文化財の修理と展示法に関する調査研
 究のため、大韓民国へ出張
 1995年8月27日～1995年8月30日
 松井章 国際会議「縄文文化からスターカーへ」出

- 席及び調査研究のため、イギリスへ出張
1995年8月28日～1995年9月13日
- 西村 康 「国際考古探査学会」出席及び調査研究のため、イギリスへ出張
1995年8月31日～1995年9月18日
- 猪熊兼勝 「韓・日地方文化シンポジウム」出席及び調査研究のため、大韓民国へ出張
1995年9月20日～1995年9月26日
- 沢田正昭 唐代壁画の保存修復に関する共同研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月3日～1995年10月10日
- 村上 隆 唐代壁画の保存修復に関する共同研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月3日～1995年10月8日
- 町田 章 「西安大明宮含元殿発掘事業会議」出席のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月5日～1995年10月10日
- 肥塚隆保 「国際ガラス学会第17回大会」出席のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月9日～1995年10月15日
- 木村 勉 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月16日～1995年10月26日
- 松村恵司 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月16日～1995年10月26日
- 立木 修 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月16日～1995年10月26日
- 岩永省三 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月16日～1995年10月26日
- 内田和伸 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月16日～1995年10月26日
- 長尾 充 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月16日～1995年10月26日
- 加藤真二 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年10月16日～1995年11月9日
- 松井 章 国際会議「前近代日本の社会史」出席及び調査研究のため、アメリカ合衆国へ出張
1995年10月23日～1995年11月5日
- 佐川正敏 日本都城と中国都城との出土文物による比較研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年11月2日～1995年11月16日
- 井上直夫 日本都城と中国都城との出土文物による比較研究のため、中華人民共和国へ出張
1995年11月2日～1995年11月16日
- 西村 康 大韓民国慶州地域遺跡探査共同研究のため、大韓民国へ出張
1995年11月5日～1995年11月10日
- 山崎信二 エジプト・エーゲ文明の研究のため、エジプト・トルコ・ギリシャへ出張
1995年11月5日～1996年1月25日
- 町田 章 国際会議「加耶諸国の王権」出席及び研究調査のため、大韓民国へ出張
1995年11月9日～1995年11月14日
- 島田敏男 ICCROM国際建築修復コース参加及び研究調査のため、イギリス・イタリア・スウェーデン・オランダ・ベルギー・フランス・スペイン・ギリシャ・トルコへ出張
1995年11月17日～1996年6月4日
- 山中敏史 バジリク文化古墳群に関する共同研究のため、大韓民国へ出張
1995年11月27日～1995年12月7日
- 肥塚隆保 考古遺物の保存科学的研究の技術交流のため、大韓民国へ出張
1995年11月30日～1995年12月2日
- 工楽善通 韓国出土木製品の調査研究のため、大韓民国へ出張
1995年12月3日～1995年12月8日
- 黒崎 直 韓国出土木製品の調査研究のため、大韓民国へ出張
1995年12月3日～1995年12月8日
- 肥塚隆保 タイ国レンガ造遺跡の劣化現象と保存対策に関する現地調査のため、タイへ出張
1995年12月5日～1995年12月15日
- 西村 康 草鞋山遺跡の現地調査のため中華人民共和国へ出張
1995年12月11日～1995年12月20日
- 猪熊兼勝 南アジア仏教遺跡に関する調査研究のため、ミャンマーへ出張
1996年1月13日～1996年1月26日
- 高瀬要一 南アジア仏教遺跡に関する調査研究のため、ミャンマーへ出張
1996年1月13日～1996年1月26日
- 上原真人 南アジア仏教遺跡に関する調査研究のため、ミャンマーへ出張
1996年1月13日～1996年1月26日
- 森本 晋 南アジア仏教遺跡に関する調査研究のため、ミャンマーへ出張
1996年1月13日～1996年1月26日
- 猪熊兼勝 古代韓日衣服の比較研究のため、大韓民国へ出張
1996年2月12日～1996年2月15日
- 花谷 浩 アンコールワット文化遺産保護共同研究のため、カンボジアへ出張
1996年3月1日～1996年3月11日
- 町田 章 日本都城と中国都城との出土文物による比較研究のため、中華人民共和国へ出張
1996年3月5日～1996年3月12日
- 佐川正敏 日本都城と中国都城との出土文物による比較研究のため、中華人民共和国へ出張
1996年3月5日～1996年3月12日
- 沢田正昭 唐代壁画の保存修復に関する共同研究のため、中華人民共和国へ出張
1996年3月5日～1996年3月12日
- 肥塚隆保 唐代壁画の保存修復に関する共同研究のため、中華人民共和国へ出張
1996年3月5日～1996年3月12日

玉田芳英 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張

1996年3月5日～1996年3月23日

牛嶋 毅 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張

1996年3月5日～1996年3月23日

牛嶋 茂 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張

1996年3月5日～1996年3月23日

西村 康 アンコールワット文化遺産保護共同研究のため、カンボジアへ出張

1996年3月9日～1996年3月23日

杉山 洋 アンコールワット文化遺産保護共同研究のため、カンボジアへ出張

1996年3月9日～1996年3月18日

森本 晋 石器分析法の研究のため、フランスへ出張

1996年3月18日～1996年6月17日

金子裕之 パジリク文化古墳群に関する共同研究のため、大韓民国へ出張

1996年3月25日～1996年3月28日

協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが、1995年度の状況は下記のとおりである。

区 分	面 積	金 額
1995年度	5,835.00	279,998,924
国有地合計	355,044.86	25,529,144,998

Ⅱ. 図書及び資料

図 書 158, 532冊 (1996.3.31)

区 分	種 別	購 入	寄 贈	計
1995年度	和漢書	1,974	5,264	7,238
	洋 書	77	77	154
累 計	和漢書	56,770	93,906	150,676
	洋 書	5,944	1,912	7,856

写 真 559,422 (1995年度末)

Ⅲ. 研究成果刊行物

1. 1995年度刊行物

名 称	
史 料	第42冊 平城宮木簡五
	第43冊 曾谷貝塚資料—山内清男考古史料7—
	第44冊 興福寺典籍文書目録第二卷
	報告書等 1994年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報
報告書等	飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報25
	平城宮発掘調査出土木簡概報30
	平城宮発掘調査出土木簡概報31
	橋津の藩倉調査報告書
図 録	第28冊 蘇我三代
	平城宮跡資料館図録

2. 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名 称
1954	第1冊 仏師運慶の研究
	第2冊 修学院離宮の復元的研究
1955	第3冊 文化史論叢
1956	第4冊 奈良時代僧房の研究
1957	第5冊 飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊 中世庭園文化史
	第7冊 興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊 文化史論叢 I
	第9冊 川原寺発掘調査報告
1960	第10冊 平城宮跡第一次・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
	第11冊 院の御所と御堂—院家建築の研究—
1961	第12冊 巧匠阿弥陀仏快慶
	第13冊 寝殿造系庭園の立地的考察
1962	第14冊 唐招提寺蔵「レース」と「金亀舍利塔」に関する研究
	第15冊 平城宮発掘調査報告II 官衙地域の調査
1963	第16冊 平城宮発掘調査報告III 内裏地域の調査
	第17冊 平城宮発掘調査報告IV 官衙地域の調査
1965	第18冊 小堀遠州の作事
	第19冊 藤原氏の氏寺とその院家
1967	第20冊 名物裂の成立
1969	第21冊 研究論集 I
1971	第22冊 研究論集 II
1973	第23冊 平城宮発掘調査報告VI 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊 高山一町並調査報告—
1975	第25冊 平城京左京三条二坊
	第26冊 平城宮発掘調査報告VII
1976	第27冊 飛鳥・藤原宮発掘調査報告 I
	第28冊 研究論集 III
1977	第29冊 木曾奈良井一町並調査報告—
	第30冊 五條一町並調査の記録—
1978	第31冊 飛鳥・藤原宮発掘調査報告II
	第32冊 研究論集 IV
1979	第33冊 イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告
	第34冊 平城宮発掘調査報告IX
1980	第35冊 研究論集 V
	第36冊 平城宮整備調査報告 I
1981	第37冊 飛鳥・藤原宮発掘調査報告III
	第38冊 研究論集 VI
1984	第39冊 平城宮発掘調査報告 X
	第40冊 平城宮発掘調査報告 XI
1985	第41冊 研究論集 VII
	第42冊 平城宮発掘調査報告 XII
1985	第43冊 日本における近世民家(農家)の系統的発展
	第44冊 平城京左京三条二坊六坪発掘調査報

1986	第45冊	告 薬師寺発掘調査報告
1988	第46冊	平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告書
	第47冊	研究論集Ⅷ
1990	第48冊	年輪に歴史を読む—日本における古 年輪学の成立—
	第49冊	研究論集Ⅸ
	第50冊	平城宮跡発掘調査報告書ⅩⅢ
1992	第51冊	平城宮跡発掘調査報告書ⅩⅣ
	第52冊	西隆寺発掘調査報告書
1993	第53冊	平城宮朱雀門の復原的研究
1994	第54冊	平城京左京二条二坊・三条二坊—長 屋王邸・藤原麻呂邸—発掘調査報告
	第55冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅳ—飛鳥 水落遺跡の調査—

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集（複製）
1955	第2冊	西大寺叡尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡1 函版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編2
1969	第5冊	平城宮木簡1 解説（別冊）
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 函版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 函版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 函版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 函版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅰ
1983	第26冊	東大寺文書目録第6巻
1984	第27冊	木器集成図録—近畿古代編—
1985	第28冊	平城宮木簡4 函版・解説
	第29冊	興福寺典籍文書目録第1巻
1988	第30冊	山内清男考古資料1 真福寺貝塚資 料他
	第31冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅱ
1989	第32冊	山内清男考古資料2
1991	第33冊	山内清男考古資料3
	第34冊	山内清男考古資料4

	第35冊	山内清男考古資料5
1992	第36冊	木器集成図録—近畿原始編—
	第37冊	梵鐘実測図集成（上）
1993	第38冊	梵鐘実測図集成（下）
	第39冊	山内清男考古資料6
1994	第40冊	山田寺出土建築部材集成
	第41冊	平城京木簡一

奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名	称
1973	第1冊	瓦編1 解説
1974	第2冊	瓦編2 解説
1975	第3冊	瓦編3
1976	第4冊	瓦編4
	第5冊	瓦編5
1978	第6冊	瓦編6
1979	第7冊	瓦編7
1980	第8冊	瓦編8
1983	第9冊	瓦編9

飛鳥資料館図録

年度	名	称
1976	第1冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊	日本古代の墓誌
1978	第4冊	日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊	古代の誕生仏
1979	第6冊	飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—
1980	第7冊	日本古代の鷗尾
1981	第8冊	山田寺展
1982	第9冊	高松塚拾年
1983	第10冊	渡來人の寺—桧隈寺と坂田寺—
	第11冊	飛鳥の水時計
	第12冊	小建築の世界—埴輪から瓦塔まで—
1984	第13冊	藤原—半世紀にわたる調査と研究—
1985	第14冊	日本と韓国の塑像
	第15冊	飛鳥寺
1986	第16冊	飛鳥の石造物
1987	第17冊	萬葉乃衣食住
	第18冊	壬申の乱
1988	第19冊	古墳を科学する
	第20冊	聖徳太子の世界
1989	第21冊	仏舎利埋納
	第22冊	法隆寺金堂壁画飛天
1990	第23冊	日本書紀を掘る
1991	第24冊	飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察
	第25冊	飛鳥の源流
1992	第26冊	飛鳥の工房
1994	第27冊	古代の形

Ⅳ. 定員

区	分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1995年度		1	22	1	62	86
1996年度		1	22	1	61	85

V. 予 算 (1995年度)

人件費	691,448千円
運営費	1,321,679
事業管理	7,476
一般研究	63,216
特別研究	325,763
発掘調査	554,901
宮跡整備管理	73,296
飛鳥資料館運営	52,326
埋蔵文化財センター運営	73,369
本庁舎維持管理等経費	147,328
飛鳥藤原宮跡発掘調査部運営	24,004
施設費	1,374,678
平城宮跡等整備費	1,366,753
各所修繕費	7,925
計	3,387,805

VI 施 設 (会計課)

土 地

奈良国立文化財研究所所管	47,890m ²
本庁舎	8,860m ²
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	20,515m ²
飛鳥資料館	17,092m ²
郡山宿舍(㊦)	80m ²
飛鳥資料館宿舍	1,343m ²
文化庁所管(関係分)	1,451,058m ²
平城宮跡地区	1,085,675m ²
藤原宮跡地区	360,342m ²
飛鳥稲淵宮殿跡地区	5,041m ²

建 物

	35,994m ²
1. 庁 舎	35,556m ²

区 分	本庁舎	平 城	藤 原	飛 鳥 資料館	藤原 宮跡	計
	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
事 務 室	646	176	197	108		1,127
研究・整理室	1,417	2,465	1,205	125		5,212
資料・図書室	1,021		383	131		1,535
会 議 室	338		129	49		516
講 堂		538	210	132		880
展 示 室		864	254	1,361		2,479
写 真 室		411	149	78		638
復 原 建 物		834				834
遺構展示室		1,563				1,563
車 庫	84	608	352	94		1,138
倉庫・取蔵庫	133	7,409	3,114	696		11,352
研 修 棟	1,416					1,416
そ の 他	1,666	2,052	1,506	1,606	36	6,866
計	6,721	16,920	7,499	4,380	36	35,556

2. 宿舍等	438m ²
重要文化財旧米谷家住宅	213m ²
飛鳥資料館宿舍	225m ²

主要工事

(1) 平城宮跡地等整備費	千円
平城宮跡朱雀門復原平成7年度工事	782,285

平城宮跡東院正殿復原等工事	303,850
平城宮跡東院復原平成7年度工事	117,729
平城宮跡宮内省築地等復原工事	82,400
平城宮跡東方官衙地区整備平成7年度工事	56,753
藤原宮跡環境整備平成7年度工事	11,330
(2) 施設整備費	
平城資料館会議室等改修工事	93,472
本庁舎電源改修工事	52,221
研修棟空調改修工事	48,410
平城宮跡東院南門災害復旧等工事	26,162
(3) その他(各所修繕、国有文化財保存整備費)	
特別史跡山田寺跡整備平成7年度工事	83,430
平城宮跡第3取蔵庫木器整理室他給排水改修工事	1,184
	*は建設省支出委任工事

VII. 人事異動 (1995. 4. 1~1996. 3. 31)

4月1日 飛鳥藤原宮跡発掘調査部長に配置換

	猪熊 兼勝
埋蔵文化財センター長に昇任	工楽 善通
埋蔵文化財センター研究指導部長に昇任	
	沢田 正昭
庶務部庶務課長に昇任	清水 功
庶務部会計課課長補佐に昇任	紺谷 優
庶務部会計課用度係長に昇任	中嶋 昌士
飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺構調査室長に昇任	
	巽 淳一郎
飛鳥資料館学芸室長に昇任	岩本 圭輔
埋蔵文化財センター研究指導部発掘技術研究室長に昇任	光谷 拓実
埋蔵文化財センター研究指導部遺物処理研究室長に昇任	肥塚 隆保
庶務部会計課経理係長に配置換	市原 稔三
飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第二調査室長に配置換	松村 恵司
埋蔵文化財センター研究指導部測量研究室長に配置換	西村 康
埋蔵文化財センター研究指導部考古計画研究室長に配置換	金子 裕之
平城宮跡発掘調査部主任研究官に配置換	
	立木 修
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換	千田 剛道
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換	村上 隆
飛鳥資料館主任研究官に配置換	杉山 洋
飛鳥資料館学芸室に配置換	次山 淳
庶務部会計課専門職員(施設係長)に転任	
	笹松 保
庶務部庶務課庶務係に転任	八木 清隆
文部技官(建造物研究室長)に採用	
	木村 勉
文部技官(平城宮跡発掘調査部遺構調査室)に採用	箱崎 和久
文部技官(平城宮跡発掘調査部史料調査室)に採用	古尾谷知浩

文部技官（平城宮跡発掘調査部計測修景調査室）に採用 平澤 毅
 事務補佐員（庶務部庶務課）に採用 中風呂恭代
 事務補佐員（庶務部会計課）に採用 山口 由佳
 研究補佐員（飛鳥藤原宮跡発掘調査部）に採用 近藤 大典
 千葉大学文学部教授に転任 河原 純之
 文部省生涯学習局婦人教育課ボランティア推進専門官に配置換 馬場祐次朗
 京都大学経理部経理課課長補佐に転任 福田 八郎
 大阪大学医学部用度掛長に転任 年梅 徹
 和歌山大学施設課企画係長に転任 坂上 定敬
 京都大学庶務部庶務課庶務掛に転任 桑原 隆佳
 文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官に転任 小池 伸彦
 7月1日 庶務部会計課施設係施設主任に昇任 松井 敏夫
 10月1日 山口大学人文学部助教授に転任 橋本 義則
 12月1日 文部技官（埋蔵文化財センター研究指導部遺物処理研究室）に採用 高妻 洋成
 1月1日 飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換 寺崎 保広
 文部技官（平城宮跡発掘調査部史料調査室）に採用 山下信一郎
 文部技官（埋蔵文化財センター情報資料室）に採用 奥村小百合
 2月9日 辞職 小林 玉美
 3月1日 事務補佐員（庶務部会計課）に採用 井野由宜子
 3月31日 退職 本中 宣代
 退職 近藤 大典
 退職 福井 敏子

VIII 組織規定

文部省組織令（抜粋）

昭和59年6月28日 政令第227号

第2章 文化庁
 第3節 施設等機関
 （施設等機関）

第108条 文化庁長官の所轄の下に、文化庁に国立国語研究所を置く。
 2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。
 （中略）
 国立文化財研究所
 （国立文化財研究所）
 第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。
 2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。
 3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は文部省令で定める。

文部省設置法施行規則（抜粋）

昭和28年1月13日 文部省令第2号

第5章 文化庁の施設等機関
 第4節 国立文化財研究所
 第1款 名称及び位置
 （名称及び位置）

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東 京 都 台 東 区
奈良国立文化財研究所	奈 良 県 奈 良 市

第2款 奈良国立文化財研究所
 （所長）

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。
 2 所長は、所務を掌理する。
 （内部組織）
 第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。
 2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。
 （庶務部の分課及び事務）
 第125条 庶務部に、次の二課を置く。
 一 庶務課
 二 会計課
 2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。
 一 職員の人事に関する事務を処理すること。
 二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。
 三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。
 四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。
 五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。
 六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。
 3 会計課においては、次の事務をつかさどる。
 一 予算に関する事務を処理すること。
 二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。
 三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。
 四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。
 五 庁内の取締りに関すること。
 第126条 削除
 （建造物研究室等の事務）
 第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。
 2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。
 （平城宮跡発掘調査部の六室及び事務）

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

- 2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。
- 3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物（木簡を除く。）の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 6 資料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

（藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務）

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

- 2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。
- 3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物（木簡を除く。）の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

（飛鳥資料館）

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事業を行う。

（飛鳥資料館の館長）

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理する。

（飛鳥資料館の二室及び事務）

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

- 2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。
- 3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。
 - 一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。
 - 二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。
 - 三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

（埋蔵文化財センター）

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

- 一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。
- 二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。
- 三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。
- 四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

（埋蔵文化財センターの長）

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

- 2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

（埋蔵文化財センターの内部組織）

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

（教務室の事務）

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

（研究指導部の六室及び事務）

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

- 2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務（他の室の所掌に属するものを除く。）をつかさどる。
- 3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務（発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く。）をつかさどる。
- 4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。
- 5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。
- 6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。
- 7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

（情報資料室の事務）

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

（客員研究員）

第139条 奈良国立文化財研究所に客員研究員を置く

ことができる。

- 2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。
- 3 客員研究員は、非常勤とする。

改正	昭和43年 6月15日	文部省令第20号	昭和53年 4月 5日	文部省令第19号
	昭和45年 4月17日	文部省令第11号	昭和53年 9月 9日	文部省令第33号
	昭和48年 4月12日	文部省令第 6号	昭和55年 4月 5日	文部省令第14号
	昭和49年 4月11日	文部省令第10号	昭和55年 6月25日	文部省令第23号
	昭和50年 4月 2日	文部省令第13号	昭和58年10月 1日	文部省令第25号
	昭和51年 5月10日	文部省令第16号	昭和59年 6月30日	文部省令第37号
	昭和52年 4月18日	文部省令第10号	昭和63年 4月 8日	文部省令第12号

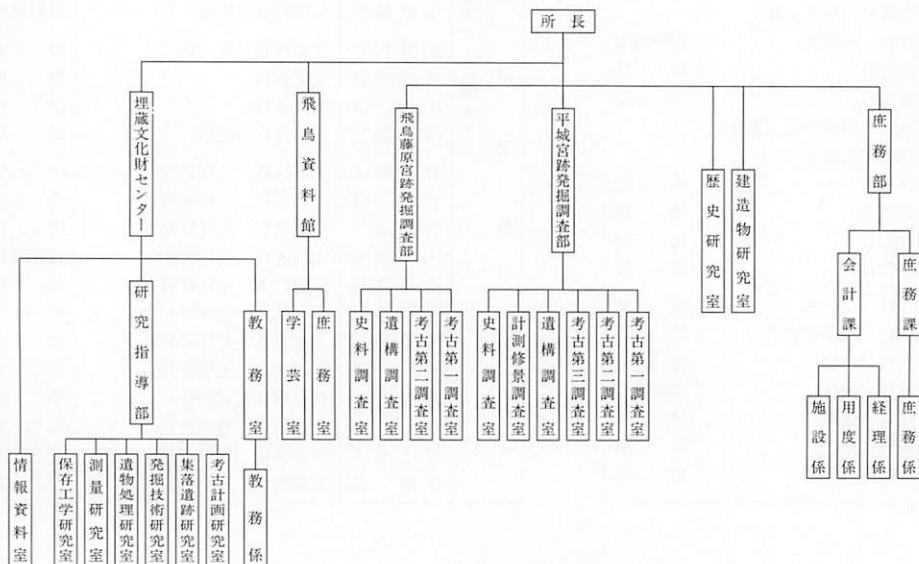
職員 (1996年 7月 1日現在)

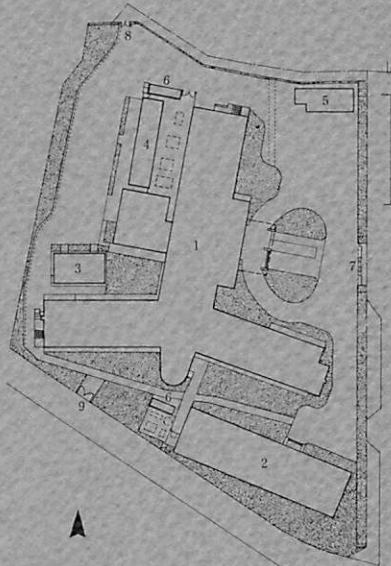
所属	氏名	官 職	担 当
	田中 琢	文部技官 所 長	
庶務課	板垣 義信	文部事務官 部 長	
	清水 功	文部事務官 課 長	
	野木 正博	文部事務官 課長補佐	平城事務
	西田 健三	文部事務官 専門職員	
	大川 智和	文部事務官 庶務係長	
	八木 清隆	文部事務官	庶務人事
	大西 和子	事務補佐員	庶 務
	福本 良子	事務補佐員	庶 務
	新宮 恵子	事務補佐員	庶 務
	中風 呂恭代	事務補佐員	庶 務
	梶谷 香英	事務補佐員	庶 務
	中川 かよ子	事務補佐員	図書資料
	中垣 睦美	事務補佐員	図書資料
	伊藤 久美	事務補佐員	図書資料
	石川 千恵子	研究補佐員	公 開
	奥村 功	技能補佐員	保 守
	倉橋 陸雄	文部事務官 課 長	
	紺谷 優	文部事務官 課長補佐	
	渡邊 康史	文部技官 課長補佐	
	今西 康益	文部技官 専門職員	施 設
	櫻井 雅樹	文部事務官 専門職員	藤原事務
	市原 稔三	文部事務官 経理係長	
	北川 博之	文部事務官 経理主任	
	港 悦子	事務補佐員	経 理
	森本 はぎ子	事務補佐員	経 理
井野 由宜子	事務補佐員	経 理	
中嶋 昌士	文部事務官 用度係長		
小野 敦	文部事務官 用度主任		
飯田 信男	文部技官 車庫長	自動車運転	
上村 敬子	事務補佐員	用 度	
幸田 恵理子	事務補佐員	用 度	
今西 康益	文部技官 施設係長 (兼任)		
松井 敏夫	文部技官 施設主任		
上垣内 茂樹	文部技官	施 設	
永井 和代	事務補佐員	施 設	
山口 由佳	事務補佐員	施 設	
中 埜 博	技術補佐員	施 設	
建造物研究室	木村 勉	文部技官 室 長	建 築
	村田 健一	文部技官 主任研究官	建 築
	浅川 滋男	文部技官 (併任)	建 築
	小野 健吉	文部技官 (併任)	遺跡庭園
	島田 敏男	文部技官 (併任)	建 築
	藤田 盟児	文部技官 (併任)	建 築
	長尾 充	文部技官 (併任)	建 築

所属	氏名	官 職	担 当	
歴史研究室	綾村 宏	文部技官 室 長	歴 史	
	寺崎 保広	文部技官 (併任)	歴 史	
	岩永 省三	文部技官 (併任)	考 古	
	森本 晋	文部技官 (併任)	考 古	
	深澤 芳樹	文部技官 (併任)	考 古	
	渡邊 晃宏	文部技官 (併任)	歴 史	
平城宮跡発掘調査部	町田 章	文部技官 部 長		
	考古第一調査室	小林 謙一	文部技官 室 長	考 古
		加藤 真二	文部技官	考 古
		白杵 勲	文部技官 (併任)	考 古
	考古第二調査室	高妻 洋成	文部技官 (併任)	保存科学
		川越 俊一	文部技官 室 長	考 古
		金田 明大	文部技官	考 古
	考古第三調査室	立木 修	文部技官 (併任)	考 古
		玉田 芳英	文部技官 (併任)	考 古
		山崎 信二	文部技官 室 長	考 古
	清野 孝之	文部技官	考 古	
	井上 和人	文部技官 (併任)	考 古	
	岩永 省三	文部技官 (併任)	考 古	
	遺構調査室	町田 章	文部技官 室長 (事務取扱)	
		長尾 充	文部技官	建 築
箱崎 和久		文部技官	建 築	
西山 和宏		文部技官	建 築	
浅川 滋男		文部技官 (併任)	建 築	
計測風景調査室	高瀬 要一	文部技官 室 長	遺跡庭園	
	内田 和伸	文部技官	遺跡庭園	
	平澤 毅	文部技官	遺跡庭園	
	小野 健吉	文部技官 (併任)	遺跡庭園	
	史料調査室	館野 和己	文部技官 室 長	歴 史
古尾谷 知浩		文部技官	歴 史	
山下 信一郎		文部技官	歴 史	
渡邊 晃宏		文部技官 (併任)	歴 史	
井上 和人		文部技官 主任研究官	考 古	
立木 修		文部技官 主任研究官	考 古	
岩永 省三		文部技官 主任研究官	考 古	
小野 健吉		文部技官 主任研究官	遺跡庭園	
浅川 滋男		文部技官 主任研究官	建 築	
玉田 芳英		文部技官 主任研究官	考 古	
渡邊 晃宏	文部技官 主任研究官	歴 史		
白杵 勲	文部技官 主任研究官	考 古		
西田 健三	文部事務官 (併任)	事 務		
佃 幹雄	文部技官 専門員	写 真		
井上 直夫	文部技官 専門職員	写 真		
牛 嶋 茂	文部技官 専門職員	写 真		

所属	氏名	官職	担当	
飛鳥	猪熊兼勝	文部技官 部長		
	黒崎直樹	文部技官 室長	考古	
	深澤芳樹	文部技官 (併任)	考古	
	花谷浩	文部技官 (併任)	考古	
	井上直夫	文部技官 (併任)	写真	
	藤原	松村恵司	文部技官 室長	考古
		千田剛道	文部技官 (併任)	考古
		西口壽生	文部技官 (併任)	考古
		村上隆	文部技官 (併任)	保存科学
	宮	巽淳一郎	文部技官 室長	考古
		島田敏男	文部技官 (併任)	建築
		藤田盟児	文部技官 (併任)	建築
跡	毛利光俊彦	文部技官 室長	考古	
	寺崎保広	文部技官 (併任)	歴史	
	佐川正敏	文部技官 (併任)	考古	
	小澤毅	文部技官 (併任)	考古	
掘	千田剛道	文部技官 主任研究官	考古	
	西口壽生	文部技官 主任研究官	考古	
	深澤芳樹	文部技官 主任研究官	考古	
	寺崎保広	文部技官 主任研究官	歴史	
	佐川正敏	文部技官 主任研究官	考古	
	花谷浩	文部技官 主任研究官	考古	
	小澤毅	文部技官 主任研究官	考古	
	村上隆	文部技官 主任研究官	保存科学	
	島田敏男	文部技官 主任研究官	建築	
	藤田盟児	文部技官 主任研究官	建築	
	櫻井雅樹	文部事務官 事務総括(併任)	事務	
	吉岡佐和子	事務補佐員	事務	
	松本誠	技能補佐員	保守	
	木寅寅志	技能補佐員	自動車運転	
	宮川伴子	研究補佐員	資料整理	
	荒木浩司	研究補佐員	考古	
伊藤敬太郎	研究補佐員	考古		
羽鳥幸一	研究補佐員	考古		
水戸部秀樹	研究補佐員	考古		
飛鳥	田中 琢	文部技官 館長(事務取扱)		
	左右田進	文部事務官 室長		
	中西建夫	文部事務官 庶務主任		
飛鳥	乾 春雄	技能補佐員	保守	

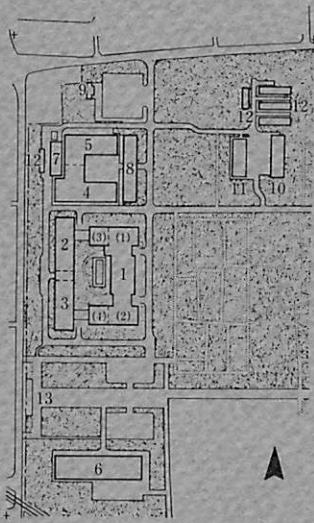
所属	氏名	官職	担当
資料館	藤本清	警務補佐員	警備
	森井恵美子	事務補佐員	事務
	米川まち子	事務補佐員	事務
学芸室	岩本圭輔	文部技官 室長	考古
	杉山洋	文部技官 主任研究官	考古
	次山淳	文部技官	考古
	大谷照子	事務補佐員	事務
埋蔵	工楽善通	文部技官 センター長	
	西影憲二	文部事務官 室長	
	高畑孝雄	文部事務官 教務係長	事務
	穴戸雅子	事務補佐員	事務
	牛嶋茂	文部技官 (併任)	写真
文	沢田正昭	文部技官 部長	
	金子裕之	文部技官 室長	考古
化	山中敏史	文部技官 室長	考古
	光谷拓実	文部技官 室長	遺跡庭園
財	松井章	文部技官 (併任)	考古
	肥塚隆保	文部技官 室長	保存科学
七	高妻洋成	文部技官	保存科学
	西村康	文部技官 室長	考古
ン	松井章	文部技官 (併任)	考古
	加藤允彦	文部技官 室長	遺跡庭園
部	内田昭人	文部技官 (併任)	建築
	内田昭人	文部技官 主任研究官	建築
夕	松井章	文部技官 主任研究官	考古
	森本晋	文部技官 主任研究官	考古
1	岩永恵子	事務補佐員	事務
	伊東太作	文部技官 室長	測量
	奥村小百合	文部技官	情報
	森本晋	文部技官 (併任)	考古





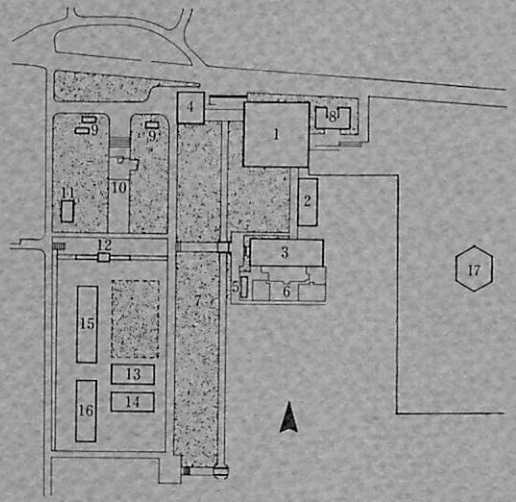
本館配置図

- 1 本館
- 1階 庶務部及び図書資料室
- 2階 所長室及び平城宮跡発掘調査部
- 3階 建造物研究室、歴史研究室及び埋蔵文化財センター
- 2 埋蔵文化財センター研修棟 3 研修棟
- 4 機械棟 5 車庫 6 自転車置場
- 7 正門 8 通用門 9 非常口



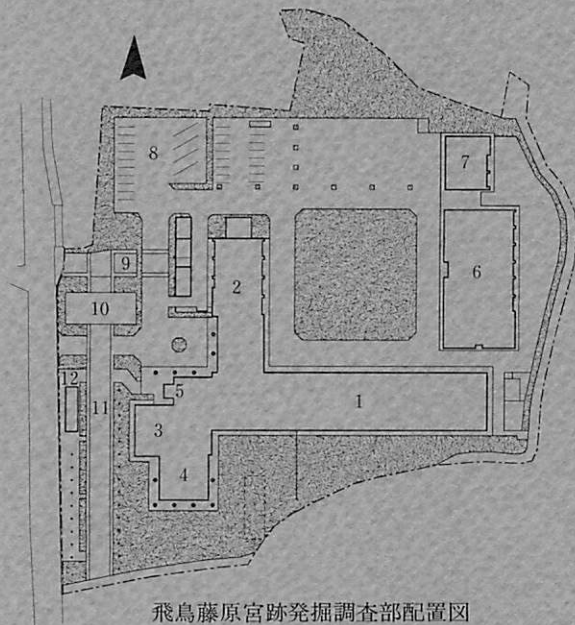
平城宮跡資料館配置図

- 1 平城宮跡資料館
- (1) 展示室 (3) 準備室
- (2) 講堂 (4) 小講堂
- 2 第1取蔵庫
- 3 第2取蔵庫
- 4 第3取蔵庫
- 5 第4取蔵庫
- 6 第5取蔵庫
- 7 大型遺物処理棟
- 8 遺物解析処理棟
- 9 便所
- 10 整備棟
- 11 資材保管加工棟
- 12 取蔵庫
- 13 佐伯門跡



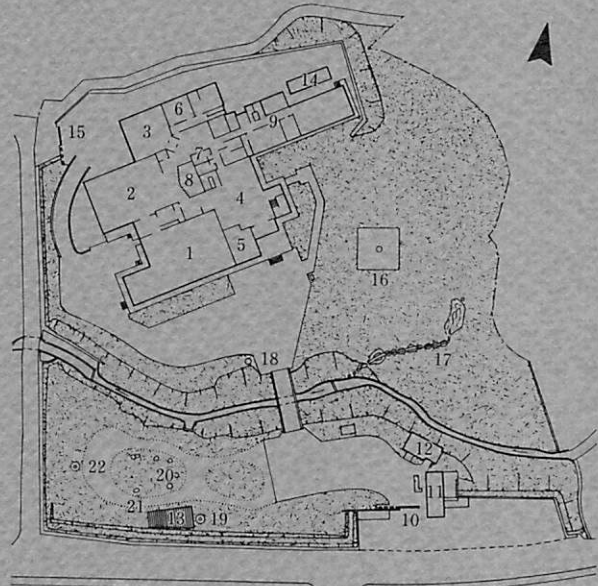
平城宮跡遺構展示館配置図

- 1 遺構展示館 2 展示館
- 3 遺構展示館 4 管理棟
- 5 築地堀復原 6 埴積基壇復原
- 7 東大溝復原 8 便所
- 9 バーゴラ 10 案内広場
- 11 防災設備室
- 12 宮内省北門・築地堀復原
- 13 宮内省復原建物(南殿)
- 14 宮内省復原建物(南殿第2殿)
- 15 宮内省復原建物(西北殿)
- 16 宮内省復原建物(西南殿)
- 17 造酒司井戸の再現展示



飛鳥藤原宮跡発掘調査部配置図

- 1 整理研究棟 2 管理棟
- 3 展示室 4 講堂
- 5 入口 6 取蔵庫棟
- 7 保存科学棟 8 駐車場
- 9 六条条間路跡 10 建物跡
- 11 東三坊坊間路跡



飛鳥資料館配置

- 1 第1展示室 2 第2展示室 3 講堂
- 4 ロビー 5 閲覧室・売店 6 会議室
- 7 便所 8 光庭 9 管理棟
- 10 正門 11 売札所 12 屋外展示解説室
- 13 バーゴラ 14 機械室 15 通用門
- 16 須弥山石 17 酒船石 18 石人像
- 19 山田寺塔心礎 20 猿石 21 入頭石
- 22 法輪寺塔心礎